MUSASHINO
BANK

2006.9
ミニディスクロージャー誌

武蔵野銀行 Vol.22

プロフィール

武蔵野銀行

（18年9月30日現在）

名称	株式会社 武蔵野銀行 The Musashino Bank,Ltd.	
本店所在地	さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地8	
ホームページ	http://www.musashinobank.co.jp	
設立	昭和27年3月6日	
ネットワーク	営業店舗数	90か店 （県内88、県外2）
	住宅ローンセンター数	10か所
	店舗外ATM数	109か所
	ATM・CD設置台数	454台
従業員数	2,074名	
総資産	32,079億円	
預金残高	29,159億円	
貸出金残高	23,413億円	
資本金	457億円	
発行済株式数	34,455,456株	
自己資本比率	10.52%	

【行是】
昭和47年に制定された行是は、「強靱（強く、粘り強いこと、日常の鍛錬と合理性・団結を伴うもの）」、「清新（新しい感覚と創造力、積極性をもって行動）」、「誠実（公共的使命を認識し地域と大衆に奉仕せよ）」の3つの言葉で、当行役職員の精神の基本となっている。

武蔵野銀行グループ

武蔵野銀行グループは、当行、グループ会社7社（連結子会社）で構成し、銀行業務を中心に銀行事務の代行業務、リース業務などの金融サービスに係る事業を行っています。

ぶぎんビジネスサービス株式会社	銀行事務代行業務
ぶぎん保証株式会社	個人向け融資に係る信用保証業務
ぶぎん総合リース株式会社	総合リース業務
むさしのカード株式会社	クレジットカード（JCB、VISA）、金銭の貸付、信用保証業務
ぶぎんシステムサービス株式会社	コンピュータシステムの開発、販売、保守管理業務
株式会社ぶぎん地域経済研究所	県内経済、産業の調査研究、経営・税務等の相談、各種セミナーの開催
株式会社ぶぎんキャピタル	ベンチャー企業への投資、経営相談

目次 CONTENTS

プロフィール …… 1
ごあいさつ …… 2
経営方針
経営理念、中期経営計画 …… 3
業績ハイライト
業績のポイント、資金運用、資金調達、預り資産 …… 4
損益、自己資本比率、経費、格付け …… 5
資産の自己査定と不良債権の状況 …… 6
単体決算の概要 …… 7
連結決算の概要 …… 8
収益体系図 …… 9
内部管理体制
コーポレート・ガバナンス体制、勧誘方針 …… 10
県民の皆様とともに
埼玉県の特性 …… 11
県民の皆様への貸出金 …… 12～14
地域経済活性化のために …… 15～16
県民の皆様からの預金・預り資産 …… 17～18
より便利にご利用いただくために …… 19～20
社会貢献活動 …… 21
お知らせ …… 22

※本誌に掲載の計数は、単位未満を切り捨ての上表示しています。

ごあいさつ

皆様には、平素より武蔵野銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび当行は、私どもに対するご理解をより一層深めていただくとともに、平成18年度9月期の営業の概況や地域貢献に関する取組みの状況等をできるだけわかりやすくお知らせするため、本冊子を作成いたしました。皆様のご参考になれば幸いに存じます。

さて、当行の18年9月末貸出金残高は、2兆3,413億円で前年比1,748億円増加、年率にして8.1%の増加となりました。これは地方銀行64行のうち、※年率順位では第3位、増加順位では第5位であり、地銀トップクラスの好調な伸びを示しました。

預金、預り資産についても堅調な伸びとなっており、このことから18年度中間決算については、本業部門の収益力を示すコア業務純益は5期連続、最終利益である中間純利益も4期連続して過去最高益を更新いたしました。

本年度は中期経営計画「JUMP UP 21」の最終年度であります。この計画が目指す「地域貢献度No.1銀行、埼玉県民のベストリテールバンク」を実現するため、これまで以上に多様で魅力ある商品の提供と付加価値の高い提案活動、ソリューション営業など質の高い金融サービスの展開に努めるとともに、内部管理体制を強化し、健全な財務体質の構築を図り、透明性の高い経営を実践していく所存です。

今後とも一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

※18年9月30日現在。ニッキンデータより

いつも、
武蔵野銀行をご利用いただきまして、
誠にありがとうございます。

頭　取　三輪克明

18年12月

経営方針

経営理念

「地域共存」・・・・・豊かな地域社会の実現に寄与し、地域とともに発展します。
「顧客尊重」・・・・・変化を先取りした果敢な経営を展開し、組織を挙げて最良のサービスを提供します。

当行は、「地域共存」、「顧客尊重」を永遠の経営理念に掲げ、16年4月にスタートした中期経営計画「JUMP UP 21」を推進しています。

今年度は、その最終年度に当たりますので、基本方針・基本戦略で掲げた課題克服と、計画目標の達成に向けて、全力で取組んでまいります。

中期経営計画「JUMP UP 21」(16年4月～19年3月)

経営ビジョン	地域貢献度No.1銀行、「埼玉県民のベストリテールバンク」
基本方針	《地域のお客様、株主、従業員》の満足度向上を追求
基本戦略	1. 収益力の一段の強化、内部留保の増強 2. 資産内容の一層の健全化 3. 収益管理・リスク管理体制の確立 4. グループ全体の組織・人材の更なる活性化

	18年9月期実績	19年3月期最終計画
コア業務純益	108億円	230億円以上
コアROA	0.68%	0.70%以上
ROE	7.97%	8.50%以上
コアOHR	62.20%	60.0%未満
自己資本比率	10.52%	9.50%以上
不良債権比率	3.08%	3.0%未満
貸出金平残	22,569億円	21,714億円以上
預金平残	28,766億円	29,488億円以上

用語解説

コア業務純益・・・銀行の本業（資金の運用、手数料等）から得られた利益のこと。
コアROA・・・利益を総資産で除して求める収益性の財務指標で高い方がよい。
ROE・・・株主資本に対する純利益の比率のことで、株主資本をもとに当行が1年間に上げた収益率を知る指標で高い方がよい。
コアOHR・・・業務粗利益に対する経費の割合のことで、営業の効率性（利益をあげるためにどのくらいの経費をかけているか）を示す指標で低い方がよい。
平残・・・1年間の平均残高のこと。

業績ハイライト

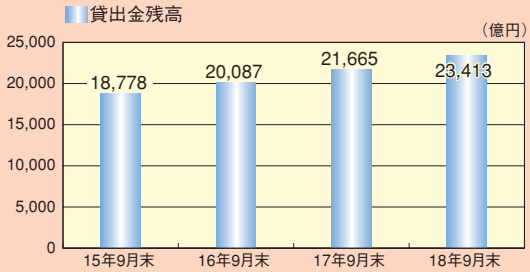
業績のポイント、資金運用、資金調達、預り資産

18年9月期は、お取引先の皆様のお陰をもちまして、経営の健全性が一段と向上するとともに、営業基盤の拡大を図ることができました。主な業績の概要は次のとおりです。

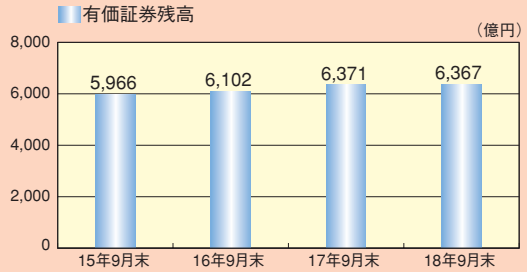
業績のポイント

①貸出金残高は2兆3,413億円となり、前年比年率8.1%、1,748億円増加しました。
②預金残高は2兆9,159億円となり、前年比年率2.6%、734億円増加しました。
③自己資本比率は10.52%となり、前年比1.24ポイント上昇しました。
④不良債権比率は3.08%となり、前年比0.44ポイント低下しました。
⑤コア業務純益は5期連続で上半期の既往ピークを更新しました。
⑥中間純利益は4期連続で最高益を更新しました。

資金運用

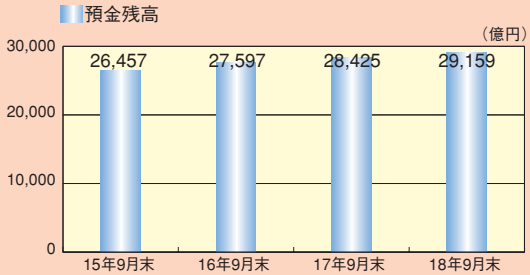


貸出金は、法人新規開拓や住宅ローンの積極推進などにより、地域経済の発展にお役に立てるよう円滑な資金供給に努めてまいりました結果、18年9月末残高は2兆3,413億円となり、前年比8.1%1,748億円増加しました。



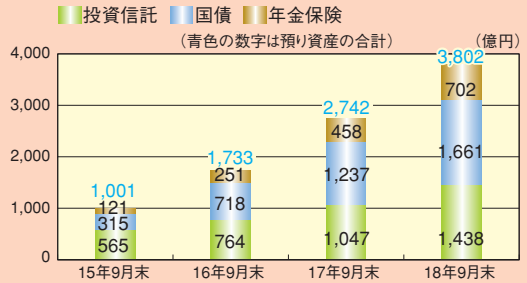
有価証券は、国債・地方債等の公共債を中心に安全と効率的な資金運用に努めた結果、18年9月末の残高は6,367億円となりました。

資金調達



預金は、地域に密着した営業活動により、18年9月末の残高が前年比734億円増加し、2兆9,159億円となりました。

預り資産



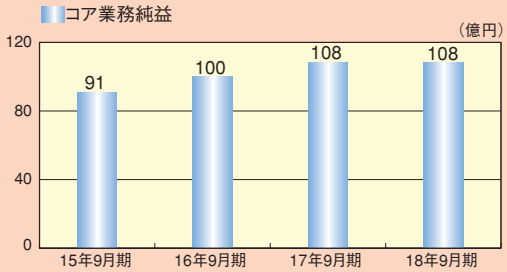
お客様ニーズにお応えするため、商品の拡充と資産運用アドバイザー体制の整備を行った結果、18年9月末の預り資産（投資信託、国債、年金保険）は、前年比1,060億円増加し、3,802億円となりました。

業績ハイライト

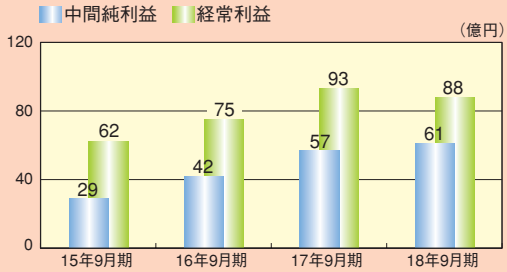
損益、自己資本比率、経費、格付け

プロフィール
ごあいさつ
経営方針
業績ハイライト
内部管理体制
県民の皆様とともに
お知らせ

損　益

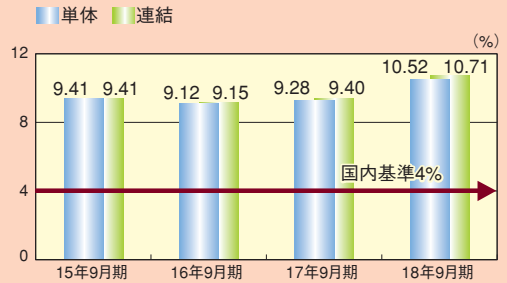


本業の収益力を示すコア業務純益は、貸出運用力の強化や投信・保険等の役務利益の増強に努めた結果、18年9月期は前年比54百万円増加し108億円となり、5期連続で上半期の既往のピークを更新しました。



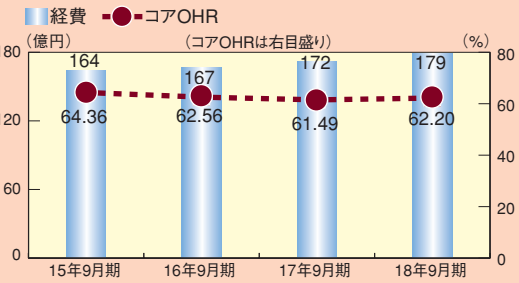
信用コストなどの増加により経常利益は、前年比4億円の減益となりました。中間純利益はIT投資減税の効果等で法人税等納付額が減少したことなどから前年比4億円増加し61億円となり、4期連続の最高益を更新しました。

自己資本比率



銀行の安全性を示す指標の一つ自己資本比率は、単体自己資本比率が10.52%、連結自己資本比率が10.71%と、国内だけで営業する銀行に必要な4%の基準を大きく上回る水準にあります。

経　費

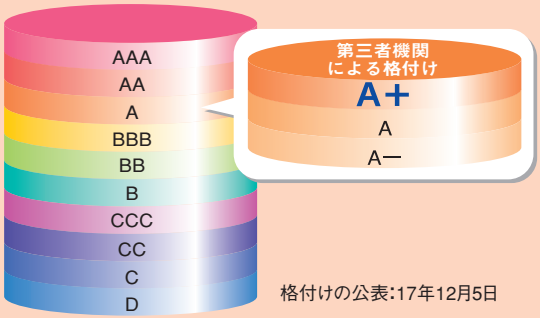


経費は、システム共同化への移行を主な要因として、物件費が6億円増加しました。営業の効率性を示すコアOHRは、資金利益の増加などから業務粗利益が前年比7億円増加したことなどにより、62.20%となりました。

格付け

「格付け」は、当行が発行する長期優先債務の払戻しの確実性を利害関係のない第三者が評価した投資家向け情報です。当行では17年12月に日本格付研究所から、貸出の質の健全化が進んでいること、貸出の伸びが鮮明になっていること、本業収益の拡大基調が続いていること等を理由に、これまでの「A」（シングルAフラット）の1ノッチ上の「A＋」（シングルAプラス）に格上げされました。

格付「A＋」（シングルAプラス）は、同社の格付等級の10段階中、上から3番目に当たる評価となっています。



格付けの公表：17年12月5日

業績ハイライト

資産の自己査定と不良債権

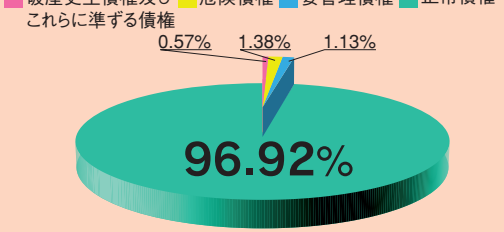
■減少する不良債権

当行は、年2回貸出金等の資産価値を自己査定し、5段階に分類するとともに、ご返済の可能性等に応じて不良債権処理に備え貸倒引当金を積立て引当処理を実施しています。18年9月末実績は、危険債権が前年比15億円増加しましたが、破産更生債権及びこれらに準ずる債権が7億円、要管理債権が50億円それぞれ減少したため、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権、要管理債権などいわゆる不良債権残高は、前年比42億円減少し、731億円となりました。

■金融再生法に基づく開示債権

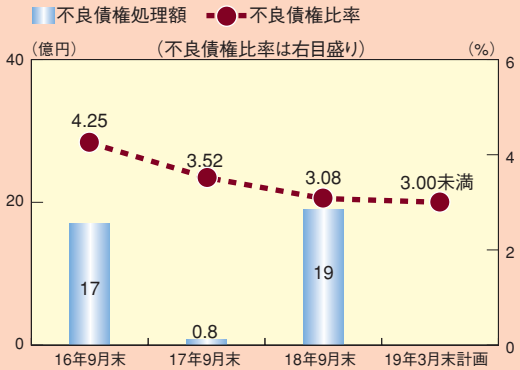
（億円）

	17年9月末	18年9月末	増　減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	141	135	△7
危険債権	314	329	15
要管理債権	317	267	△50
小計（不良債権）	773	731	△42
正常債権	21,175	22,948	1,773
合　　計	21,948	23,679	1,731



■進む不良債権処理

18年9月末の不良債権比率は、前年比0.44ポイント低下の3.08%となり、資産の健全化が一段と進みました。



用語解説

破産更生債権及びこれらに準ずる債権
破産、会社更生、再生手続等の理由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

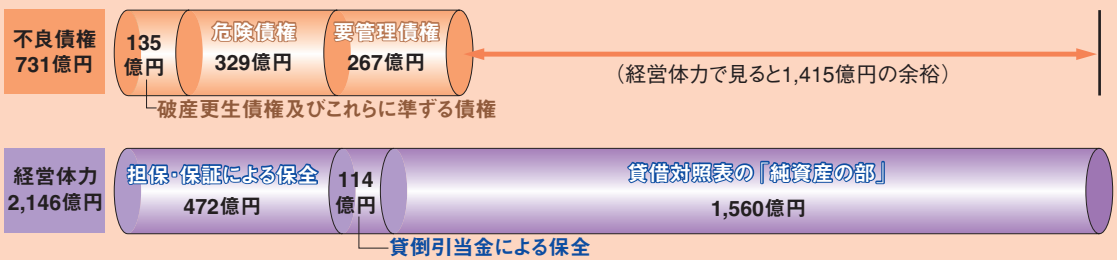
危険債権
債務者が経営破綻までには至ってないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約どおりに債権の元本及び利息の回収ができない可能性のある債権です。

要管理債権
「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」を除く、3か月以上延滞している債権及び貸出条件を緩和している債権です。

不良債権への備え

18年9月末の不良債権731億円に対する備えでは担保・保証472億円、貸倒引当金114億円の586億円が担保され、保全率は80.3%の実績です。

残りの145億円は直ちに保全が必要な債権ではなく、仮に全額追加負担となっても、自己資本で処理できるだけの十分な経営体力を有しています。



業績ハイライト

■中間貸借対照表

（百万円）

科　目	平成17年9月期 金　額	平成18年9月期 金　額
（資産の部）		
現金預け金	84,422	103,629
コールローン	52,619	30,839
買入手形	30,000	—
買入金銭債権	18,185	17,386
商品有価証券	1,052	992
金銭の信託	1,518	1,500
有価証券	637,196	636,759
貸出金	2,166,561	2,341,363
外国為替	1,952	1,543
その他資産	13,986	21,904
動産不動産	35,420	—
有形固定資産	—	33,629
無形固定資産	—	3,744
繰延税金資産	7,888	5,902
支払承諾見返	26,391	24,444
貸倒引当金	△15,806	△15,663
資産の部合計	**3,061,389**	**3,207,977**
（負債の部）		
預金	2,842,543	2,915,923
譲渡性預金	1,560	37,450
コールマネー	7,472	6,838
債券貸借取引受入担保金	—	1,516
借用金	27,967	14,935
外国為替	132	164
社債	—	18,000
その他負債	14,878	20,028
賞与引当金	1,313	1,345
役員賞与引当金	—	28
退職給付引当金	5,455	5,627
再評価に係る繰延税金負債	5,112	5,642
支払承諾	26,391	24,444
負債の部合計	**2,932,828**	**3,051,945**
（資本の部）		
資本金	36,690	—
資本剰余金	29,302	—
資本準備金	29,301	—
その他資本剰余金	0	—
自己株式処分差益	0	—
利益剰余金	42,526	—
利益準備金	10,082	—
任意積立金	25,019	—
中間未処分利益	7,424	—
中間純利益	5,769	—
土地再評価差額金	7,514	—
株式等評価差額金	14,251	—
自己株式	△1,724	—
資本の部合計	**128,561**	**—**
負債及び資本の部合計	**3,061,389**	**—**
（純資産の部）		
資本金	—	45,743
資本剰余金	—	39,440
利益剰余金	—	51,825
自己株式	—	△186
株主資本合計	—	136,823
その他有価証券評価差額金	—	12,014
繰延ヘッジ損益	—	237
土地再評価差額金	—	6,956
評価・換算差額等合計	—	19,208
純資産の部合計	**—**	**156,031**
負債及び純資産の部合計	**—**	**3,207,977**

■中間損益計算書

（百万円）

科　目	平成17年9月期 金　額	平成18年9月期 金　額
経常収益	32,096	34,639
資金運用収益	25,399	27,086
（うち貸出金利息）	(21,310)	(22,249)
（うち有価証券利息配当金）	(3,983)	(4,671)
役務取引等収益	4,946	5,049
その他業務収益	1,008	623
その他経常収益	741	1,879
経常費用	22,737	25,758
資金調達費用	967	1,752
（うち預金利息）	(436)	(847)
役務取引等費用	2,046	2,087
その他業務費用	949	776
営業経費	17,808	18,221
その他経常費用	965	2,920
経常利益	9,358	8,880
特別利益	589	438
特別損失	192	77
税引前中間純利益	9,755	9,241
法人税、住民税及び事業税	2,404	2,623
過年度未払法人税等戻入額	—	△566
法人税等調整額	1,581	999
中間純利益	5,769	6,185

■中間株主資本等変動計算書

（百万円）

科　目	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金
直前事業年度末残高	45,743	38,351	1,088	39,439	10,082	36,627
中間会計期間中変動額						
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△1,032
役員賞与	—	—	—	—	—	△57
中間純利益	—	—	—	—	—	6,185
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	0	0	—	—
土地再評価差額金取崩額	—	—	—	—	—	15
合併による増加	—	—	—	—	5	—
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額（純額）	—	—	—	—	—	—
中間会計期間中の変動額合計	—	—	0	0	5	5,111
中間会計期間末残高	45,743	38,351	1,089	39,440	10,087	41,738

（百万円）

科　目	株主資本			評価・換算差額等	純資産合計
	利益剰余金 利益剰余金合計	自己株式	株主資本合計		
直前事業年度末残高	46,709	△162	131,730	21,642	153,373
中間会計期間中変動額					
剰余金の配当	△1,032	—	△1,032	—	△1,032
役員賞与	△57	—	△57	—	△57
中間純利益	6,185	—	6,185	—	6,185
自己株式の取得	—	△24	△24	—	△24
自己株式の処分	—	1	1	—	1
土地再評価差額金取崩額	15	—	15	△15	—
合併による増加	5	—	5	—	5
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額（純額）	—	—	—	△2,419	△2,419
中間会計期間中の変動額合計	5,116	△23	5,093	△2,434	2,658
中間会計期間末残高	51,825	△186	136,823	19,208	156,031

業績ハイライト

■中間連結貸借対照表

（百万円）

科　目	平成17年9月期 金　額	平成18年9月期 金　額
（資産の部）		
現金預け金	85,511	104,019
コールローン及び買入手形	82,619	30,839
買入金銭債権	18,185	17,386
商品有価証券	1,052	992
金銭の信託	1,518	1,500
有価証券	638,325	639,106
貸出金	2,155,396	2,329,966
外国為替	1,952	1,543
その他資産	43,351	51,340
動産不動産	36,718	—
有形固定資産	—	34,595
無形固定資産	—	3,765
繰延税金資産	10,444	8,854
支払承諾見返	26,391	24,444
貸倒引当金	△18,501	△19,672
投資損失引当金	△0	△0
資産の部合計	**3,082,965**	**3,228,682**
（負債の部）		
預金	2,836,411	2,911,792
譲渡性預金	560	34,450
コールマネー及び売渡手形	7,472	6,838
債券貸借取引受入担保金	—	1,516
借用金	40,788	27,080
外国為替	132	164
社債	—	18,000
その他負債	26,850	31,708
賞与引当金	1,412	1,442
役員賞与引当金	—	28
退職給付引当金	5,492	5,666
再評価に係る繰延税金負債	5,112	5,642
支払承諾	26,391	24,444
負債の部合計	**2,950,624**	**3,068,773**
（少数株主持分）少数株主持分	**2,448**	**—**
（資本の部）		
資本金	36,690	—
資本剰余金	29,302	—
利益剰余金	43,857	—
土地再評価差額金	7,514	—
株式等評価差額金	14,251	—
自己株式	△1,724	—
資本の部合計	**129,892**	**—**
負債、少数株主持分及び資本の部合計	**3,082,965**	**—**
（純資産の部）		
資本金	—	45,743
資本剰余金	—	39,440
利益剰余金	—	52,753
自己株式	—	△186
株主資本合計	—	137,750
その他有価証券評価差額金	—	12,014
繰延ヘッジ損益	—	237
土地再評価差額金	—	6,956
評価・換算差額等合計	—	19,208
少数株主持分	—	2,949
純資産の部合計	**—**	**159,908**
負債及び純資産の部合計	**—**	**3,228,682**

■中間連結損益計算書

（百万円）

科　目	平成17年9月期 金　額	平成18年9月期 金　額
経常収益	38,142	40,748
資金運用収益	25,604	27,275
（うち貸出金利息）	(21,510)	(22,424)
（うち有価証券利息配当金）	(3,986)	(4,680)
役務取引等収益	5,436	5,565
その他業務収益	1,305	932
その他経常収益	5,796	6,974
経常費用	27,395	31,429
資金調達費用	1,048	1,860
（うち預金利息）	(436)	(847)
役務取引等費用	1,744	1,775
その他業務費用	949	776
営業経費	17,960	18,383
その他経常費用	5,691	8,633
経常利益	10,747	9,319
特別利益	342	315
特別損失	192	77
税金等調整前中間純利益	10,897	9,556
法人税、住民税及び事業税	2,768	2,935
過年度未払法人税等戻入額	—	△566
法人税等調整額	1,611	735
少数株主利益	446	442
中間純利益	6,070	6,009

■中間連結株主資本等変動計算書

（百万円）

科　目	株主資本 資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
直前事業年度末残高	45,743	39,439	47,825	△162	132,845
中間連結会計期間中変動額					
剰余金の配当	—	—	△1,032	—	△1,032
役員賞与	—	—	△64	—	△64
中間純利益	—	—	6,009	—	6,009
自己株式の取得	—	—	—	△24	△24
自己株式の処分	—	0	—	1	1
土地再評価差額金取崩額	—	—	15	—	15
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額（純額）	—	—	—	—	—
中間連結会計期間中の変動額合計	—	0	4,927	△23	4,904
中間連結会計期間末残高	45,743	39,440	52,753	△186	137,750

（百万円）

科　目	評価・換算差額等 その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	少数株主持分	純資産合計
直前事業年度末残高	14,670	—	6,971	21,642	2,518	157,007
中間連結会計期間中変動額						
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△1,032
役員賞与	—	—	—	—	—	△64
中間純利益	—	—	—	—	—	6,009
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△24
自己株式の処分	—	—	—	—	—	1
土地再評価差額金取崩額	—	—	△15	△15	—	—
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額（純額）	△2,656	237	—	△2,419	430	△1,988
中間連結会計期間中の変動額合計	△2,656	237	△15	△2,434	430	2,900
中間連結会計期間末残高	12,014	237	6,956	19,208	2,949	159,908

■連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（百万円）

科　目	平成17年9月期 金　額	平成18年9月期 金　額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△48,635	△37,364
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,252	1,848
財務活動によるキャッシュ・フロー	△795	3,831
現金及び現金同等物の増加額	△70,683	△31,684
現金及び現金同等物の期首残高	154,616	134,841
現金及び現金同等物の中間期末残高	83,932	103,156

業績ハイライト

収益体系図

業務粗利益

資金運用収益 270億円
事業性貸出金、住宅ローン等の利息や有価証券の利息・配当金等

役務取引等収益 50億円
投信、国債等の販売や振込・ATMご利用等で当行が受け取る手数料等

その他業務収益 6億円
国債等債券の売却益や償還益、外国為替売買益等

－

資金調達費用 17億円
普通預金、定期預金等の各種預金に支払う利息等

役務取引等費用 20億円
他行ATMのご利用等で他行に当行が支払う手数料等

その他業務費用 7億円
国債等債券の売却損や償還損等

＝

業務粗利益281億円

①資金運用収支 253億円
＋
②役務取引等収支 29億円
＋
③その他業務収支 △1億円

コア業務純益／業務純益

業務粗利益 281億円

－

債券5勘定尻 △6億円
債券関係キャピタル益

経費 179億円
人件費・物件費・税金

一般貸倒引当金 1億円

＝

コア業務純益 108億円

業務純益 100億円

経常利益

業務純益 100億円

臨時収益 18億円
株式売却益等

－

臨時費用 30億円
不良債権処理損、株式売却損、株式償却等

＝

経常利益 88億円

中間純利益

経常利益 88億円

特別利益 4億円

－

特別損失 0億円

法人税等 26億円

過年度末払法人税等戻入額 △5億円

法人税等調整額 9億円

＝

中間純利益 61億円

内部管理体制

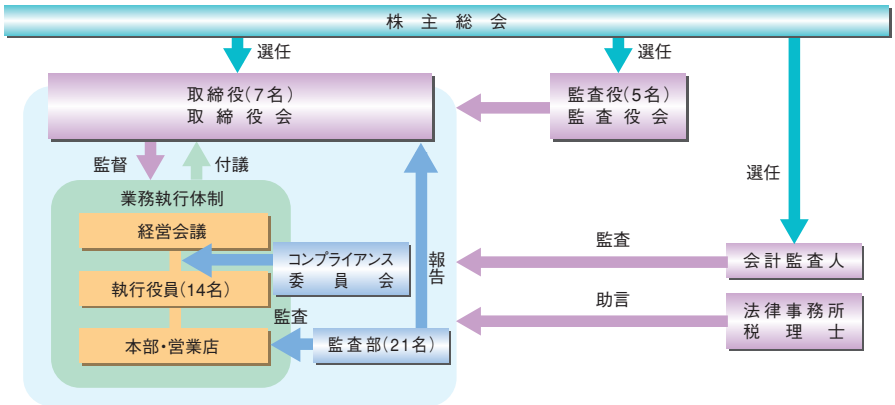
当行は、社会の一員として、地域社会との良好な関係を保ちながら持続的に発展を続けるため、コーポレート・ガバナンス（企業経営に不正行為がないことをチェックする機能）の充実、コンプライアンス（法令遵守）の徹底など内部管理体制の強化に努めています。

コーポレート・ガバナンス体制

当行では、コーポレート・ガバナンスを経営上の重要課題と認識し、法令、行内規程を遵守しつつ、取締役会及び監査役会において、取締役の職務の執行について厳正な監視を行っています。また、執行役員制度により、経営と業務執行の役割分担を明確化し、取締役と執行役員がそれぞれ責任を持って業務を行う体制としています。経営の観点からもコンプライアンス全般を評価し、社会規範に則した誠実、公正で透明性の高い企業活動を実現するため、コンプライアンス委員会を設置し、半期に一度、コンプライアンスに係る推進施策、コンプライアンス体制などについて審議しています。

［コーポレート・ガバナンス体制図］

（18年7月1日現在）



お客様への商品勧誘にあたって

役職員がお客様への勧誘を行う場合に遵守すべき5つの基本方針（勧誘方針）を制定し、誠実、適正な営業活動を行っています。

1. お客様の知識、経験や保有資産の構成などを勘案させていただいた上で、お望みの目的にかなうと判断される金融商品をお勧め致します。
2. 最終的にはお客様自身のご判断でお取引をいただくため、商品内容やリスク内容など重要な事項を十分ご理解いただけるよう、説明に努めます。
3. 断定的な判断を申し上げたり、事実でない情報を提供するなど、お客様の誤解を招くような勧誘は行いません。
4. お客様にとって不都合な時間帯やご迷惑な場所などで勧誘を行うことは致しません。
5. これらの勧誘方針に沿った適正な勧誘を行うために、研修体制の充実や行内ルールの整備に努めます。

県民の皆様とともに

当行は、円滑な資金供給と金融サービスの提供という銀行の本来業務を通じて、地域社会の発展に貢献していくことが、社会的使命と考えています。

こうした認識のもと、当行では自らが掲げる経営理念に従い、お客様にご満足いただける総合金融サービスの開発・提供と地域の皆様からのご理解と信頼を得られますよう、様々な取組みについて情報開示を進めていきます。

埼玉県の特性

埼玉県は国内有数の農産物生産地

埼玉県は、平坦な地形と穏やかな気候、肥沃な土壌等自然環境に恵まれており、安全で新鮮な米・野菜・畜産物を全国に生産しています。

中でも野菜については全国でも有数の産地で、ブロッコリー・こまつなは全国1位、ほうれんそう・ねぎ・かぶは全国2位の収穫量（平成16年産）を誇っています。

ブロッコリー（全国1位）

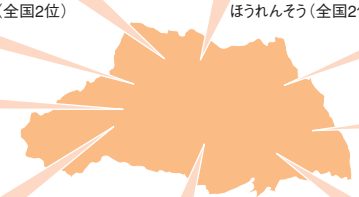
ねぎ（全国2位）

ほうれんそう（全国2位）

かぶ（全国2位）

こまつな（全国1位）

さといも（全国3位）



栗（全国4位）

きゅうり（全国3位）

えだまめ（全国4位）

出所：農林水産省統計資料「平成16年産 野菜生産出荷統計」

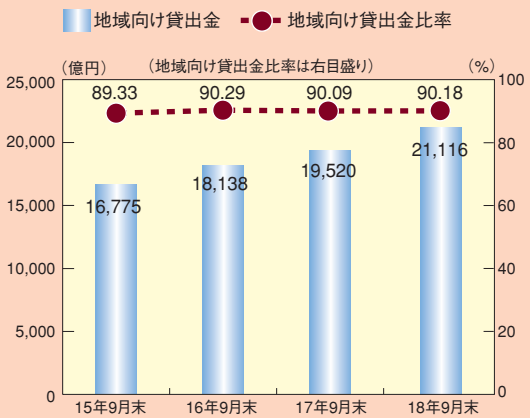
埼玉県の主な経済指標等

	埼玉県	全国シェア	全国順位	調査時点又は期間
総面積	3,797km²	1.0%	39位	平成15年10月1日
人口	705万人	5.5%	5位	平成17年10月1日
事業所数（民営）	238,628事業所	4.2%	6位	平成16年 6月1日
県内総生産（名目）	20兆5,153億円	4.1%		平成16年度
製造品出荷額（速報）	13兆7,881億円	4.7%	5位	平成17年
大型小売店販売額	1兆687億円	5.0%		平成17年
乗用車新車登録台数	195,940台	5.8%		平成17年
新設住宅着工戸数	76,236戸	6.2%	5位	平成17年

ぶぎん地域経済研究所調べ。乗用車新車登録台数は、軽自動車を除く。

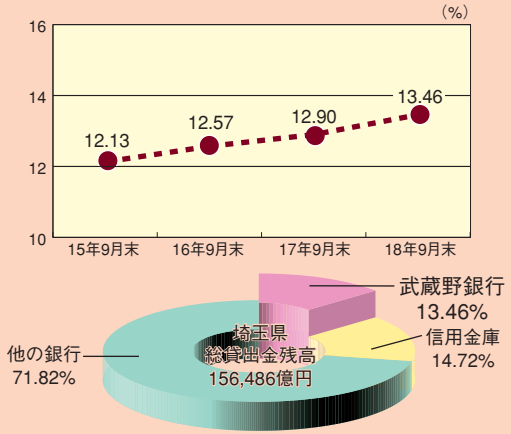
県民の皆様とともに

地域向け貸出金



地域向け貸出金は、事業性貸出金、個人ローンともにバランスよく増加しました。その結果、18年9月末の地域向け貸出金残高は、前年比1,596億円増加し、2兆1,116億円となり、地域向け貸出金比率も0.09ポイント増加しました。

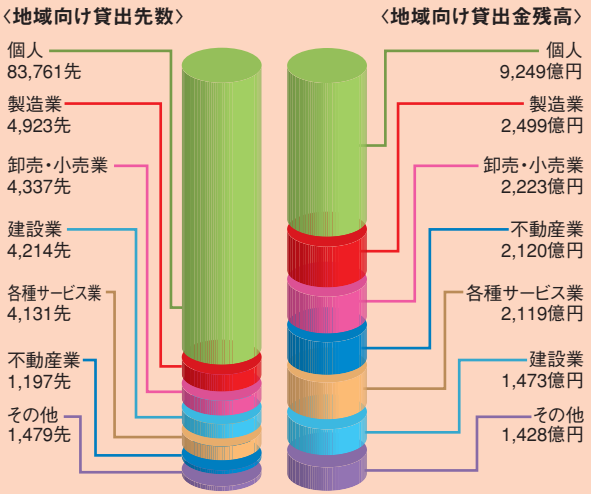
県内貸出金シェア



地域向け貸出金が大幅に増加したことに伴い、18年9月末の県内の貸出金シェアは、前年比0.56ポイント増加し、13.46%となりました。

出所：日本銀行調査統計局資料他
銀行は全店舗計（属地主義）、信用金庫は本店所在地ベース

業種別貸出金の内訳



（先・百万円）

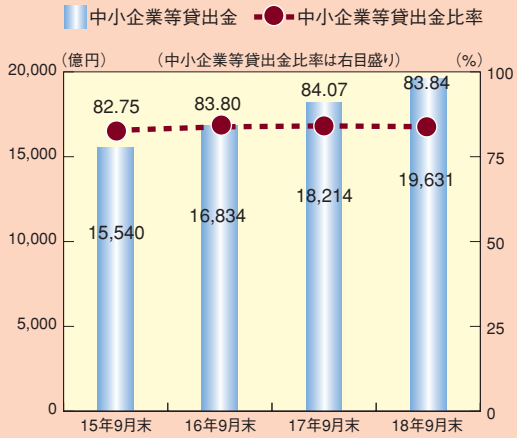
業　種	貸出先数	うち地域向け	貸出金残高	うち地域向け
製造業	4,988	4,923	280,166	249,999
農業	108	108	2,641	2,641
林業	2	2	134	134
漁業	1	1	4	4
鉱業	14	11	4,578	896
建設業	4,224	4,214	153,414	147,392
電気・ガス・熱供給・水道業	102	100	9,007	5,476
情報通信業	176	174	5,546	5,266
運輸業	1,010	998	70,972	64,577
卸売・小売業	4,373	4,337	236,883	222,332
金融・保険業	77	47	79,600	7,330
不動産業	1,217	1,197	232,225	212,051
各種サービス業	4,161	4,131	231,915	211,981
地方公共団体	38	38	56,574	56,574
国	1		50,000	
個人	83,975	83,761	927,704	924,952
合計	104,467	104,042	2,341,363	2,111,605

業種別で見た当行の地域向け貸出金は、貸出先数では個人が8割を占めますが、残高では4割強に止まり、製造業を含む5業種が1割前後の残高を維持するなど、特定業種への偏重もなく、バランス良く分散されています。

※当行では「地域」について、埼玉県及び経済圏・生活圏等が重なる茨城県五霞町と位置づけています。

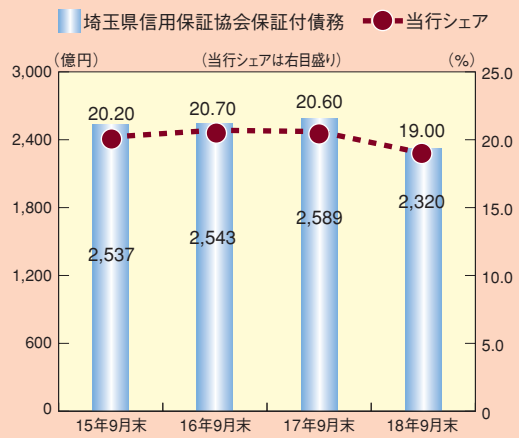
県民の皆様とともに

中小企業等貸出金



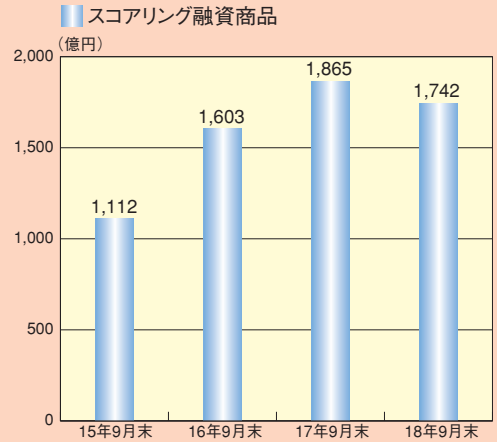
18年9月末の中小企業等に対する貸出金は、前年比1,417億円増加し、1兆9,631億円となりました。また、中小企業等貸出金比率は83.84%となりました。

埼玉県信用保証協会保証付債務



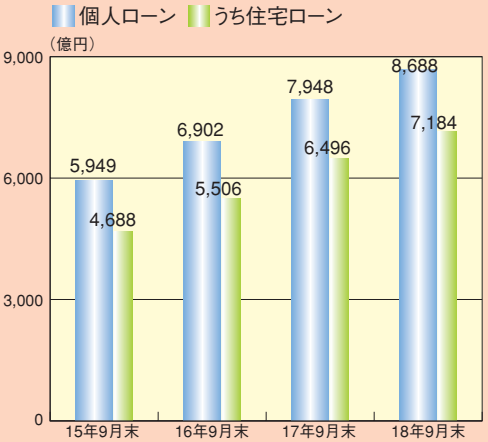
埼玉県信用保証協会の保証付債務残高は、前年比269億円減少し、2,320億円となり、当行シェアも1.6ポイント低下の19.0%となりました。

事業者の皆様向けのスコアリング融資商品



スピード審査、無担保かつ第三者保証不要のスコアリング融資商品は、中小企業の皆様に幅広くご利用され、18年9月末残高は1,742億円となりました。

順調に増加する個人ローン



住宅ローンセンターの拡充、三大疾病保障付住宅ローン、エコハウスローンなどの付加価値の高い住宅ローンの順調な増加などから、18年9月末残高は17年9月末比740億円増加の8,688億円となりました。

県民の皆様とともに

事業者の皆様向け融資商品

商品名	特長	ご融資金額	ご融資期間
むさしの「二刀流」	金利を固定・変動から自由に選択できる商品です。	5億円以内	5年以上 20年以内
Wスペシャルファンド	低金利が魅力な固定金利型の融資商品です。	3億円以内	7年以内
むさしの「企業力」(※)	無担保、第三者保証人・保証料不要、スピード審査のスコアリング融資商品です。	5千万円以内	5年以内
むさしの「スーパー企業力」	お取引のない方も対象となる無担保、第三者保証人・保証料・事務手数料不要、スピード審査のスコアリング融資商品です。	5千万円以内	5年以内
むさしの「ポプラ」 ーオリックス株式会社保証付ー	農林漁業、個人事業主やお取引のない方も対象となる無担保、第三者保証人不要のスコアリング融資商品です。債務超過先も審査対象です。	法人…3千万円以内 個人事業主…1千万円以内	5年以内
埼玉県事業資金 「中小企業応援貸付」 (スーパーサポート資金) ー埼玉県信用保証協会保証付ー	お取引のない方も対象となる無担保、第三者保証人不要の信用保証協会保証付のスコアリング融資商品です。	5千万円以内	5年以内

(※)むさしの「企業力」は、県内商工会議所等との提携を通じて、会員企業の皆様に金利優遇のサービスを実施しています。

個人の皆様向けローン商品

商品名	特長	ご融資金額	ご融資期間
むさしの住宅ローン	低金利が特徴な「大満足」シリーズから、エコハウスローン、輝家姫(かぐやひめ)など付加価値の高い住宅ローンまで、様々な選択肢をご用意しています。	5千万円以内	35年以内
マイカーローン	お車の購入費用のほか、車検やお車の修理代、他社・他行からの借換にもご利用になれます。ご利用期間中、車のトラブルに備えたロードサービスを無料でセット。	500万円以内	7年以内
奨学ローン	一般的な学費から予備校や留学の費用、下宿代にもご利用いただけます。当行とのお取引の内容に応じて最大1%の金利優遇サービスがご利用になれます。	500万円以内	11年6か月以内 (据置期間最長4年6か月を含む)
カードローン 「むさしのモビット」	事業に関すること以外であれば、カード1枚で日本全国提携金融機関のATMにてご利用いただけます。	200万円以内	3年毎自動更新 (65歳まで)

武蔵野銀行で住宅ローンをご利用中の皆様へ

三大疾病保障付住宅ローンへの変更申込みを受付中です。

(19年1月31日(水)まで)

武蔵野銀行で住宅ローンをご利用中の皆様に、「ガン」・「脳卒中」・「急性心筋梗塞」の三大疾病が付保できる住宅ローンへの変更お申込みを受付しています。詳しくは、お取引店又はフリーダイヤルにご連絡ください。

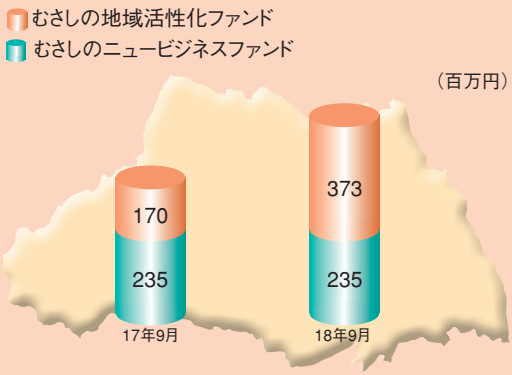
0120 FreeDial **0120-30-6340**

県民の皆様とともに

投資・融資でベンチャー・起業を応援

成長が見込まれるベンチャーや起業を資金面から応援する商品、「むさしの地域活性化ファンド」と「むさしのニュービジネスファンド」のご利用が増加しており、平成18年9月末現在で24件、608百万円の実績となりました。

なお、「むさしの地域活性化ファンド」は7月13日(木)、第2号ファンドを組成しました。



株式上場セミナーを開催

お取引先のご成長を支援できればと、株式上場を目指す県内企業の皆様を対象に、7月21日（金）・9月12日（火）・10月19日（木）、全3回にわたり、「株式上場セミナー」を実施しました。

［株式上場セミナー］

産学官連携を支援

武蔵野銀行では、幅広いネットワークを活用し、“産”（企業）、“学”（大学など）、“官”（公的機関）の連携を支援しています。お客様の技術相談や共同研究などのニーズに積極的にお応えすることで、埼玉県内の産業振興と地域活性化への貢献活動を推進しています。

なお、産学連携は平成17年5月の東洋大学に続き、平成18年3月には埼玉工業大学との提携を実施しました。

［東洋大学］

［ご連絡窓口］

埼玉工業大学先端科学研究所　☎048-585-6895
工学部　機械工学科、応用化学科、電子工学科、情報工学科

東洋大学工業技術研究所　☎049-239-1322
工学部　機械工学科、電子情報工学科、応用化学科、環境建設学科、建築学科、情報工学科、コンピュテーショナル工学科、機能ロボティクス学科

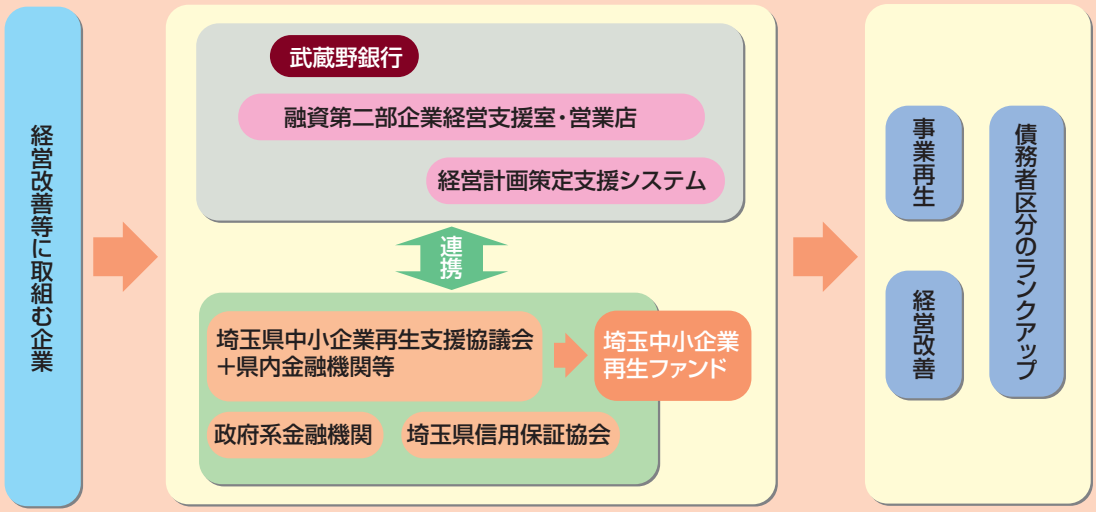
武蔵野銀行法人部
ニュービジネス推進室　☎048-641-6111

［埼玉工業大学］

県民の皆様とともに

企業経営支援室による経営支援、事業再生を支援

融資第二部企業経営支援室と営業店は、取引先企業の事業支援、再生支援のお手伝いをするため、フェイスツーフェイスでのコンサルティング活動を進めています。活動に当たっては、お客様の今後の事業や財務の計画等を十分にお聞きしたうえで、経営計画策定支援システムにより、企業診断書や中長期・月次の経営計画書を策定し、具体的な提案や必要なアドバイスを行うとともに、お客様と一緒に考え、改善策を見出すよう努めています。経営計画支援システムによりご提案させていただいた件数は、18年9月までの累計で1,902件でした。また、昨年11月に埼玉県中小企業再生支援協議会や県内金融機関等と連携して「埼玉中小企業再生ファンド」を総額30億円で組成しました。県民の銀行としての企業再生への貢献・ご期待にお応えしてまいります。



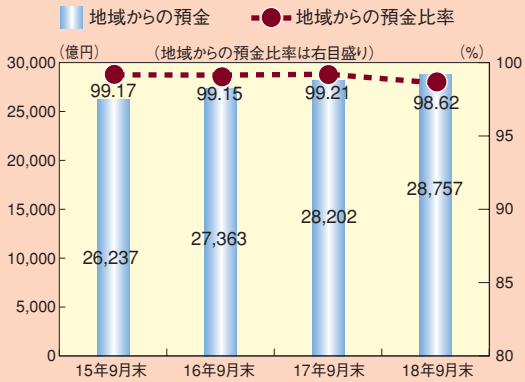
債務者区分のランクアップ活動の進捗

当行は、17年4月から「地域密着型金融推進計画」に基づき、財務内容の改善等による債務者区分のランクアップ活動を積極的に推進しています。ランクアップとは、ご融資先を返済可能性等に応じて正常先、要注意先、破綻懸念先、実質破綻先、破綻先の5段階に区分し、事業再生等により上位ランクへ引上げることです。当行では、15、16年度の2年間に328先の成果を挙げましたが、さらに17、18年度の2年間に300先のお取引先のランクアップを目指しています。18年度上期の実績は、目標70先に対し75先で達成率107%となり、計画通り順調に推移しています。

	17、18年度計画	17年度実績	18年度上期実績			17年度、18年度上期合計		
			計　画	実　績	達成率	計　画	実　績	達成率
ランクアップ先数	300先	161先	70先	75先	107%	220先	236先	107%

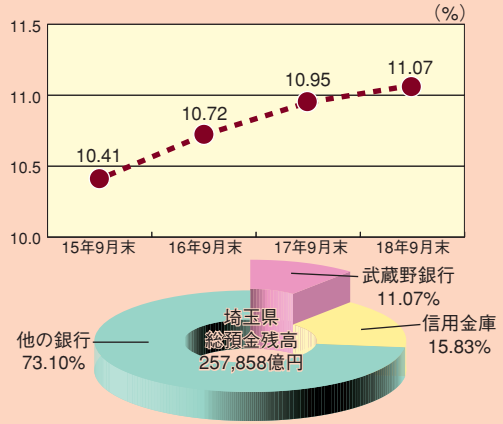
県民の皆様とともに

地域からの預金



18年9月末の地域からの預金は、前年比555億円増加の2兆8,757億円となりました。この結果、地域からの預金比率は98.62%となりました。

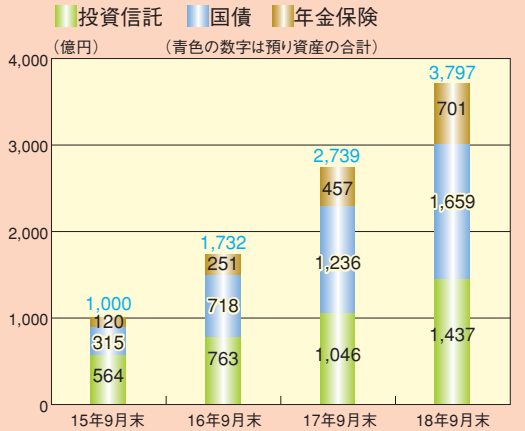
県内預金シェア



地域からの預金が着実に増加したことに伴い、18年9月末の埼玉県内の預金シェアは、前年比0.12%ポイント増加し、11.07%となりました。

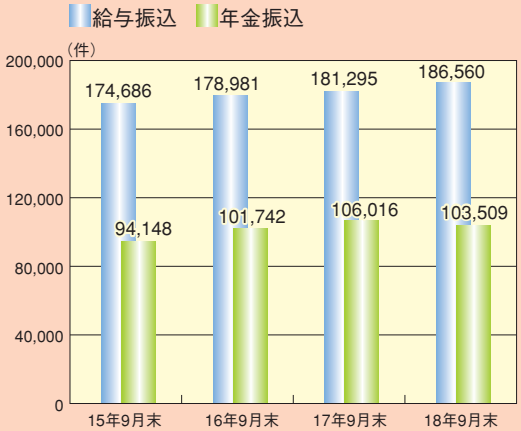
出所:日本銀行調査統計局資料他
銀行は全店舗計(属地主義)、信用金庫は本店所在地ベース

地域からの預り資産



18年9月末の地域からの預り資産(投資信託、国債、年金保険)は、前年比1,058億円増加の3,797億円となりました。この結果、地域からの預り資産比率は99.8%を占めています。

給与振込・年金受取の口座ご指定状況



当行は、給与振込、年金受取などの家計のメイン口座として、多くのお客様にご利用いただいています。給与振込は毎年着実に増加し、年金受取も10万件を超える水準にあります。

※当行では「地域」について、埼玉県及び経済圏・生活圏等が重なる茨城県五霞町と位置づけています。

県民の皆様とともに

お知らせ

本ページに掲載されている「投資信託・個人年金保険の商品一覧」及び「証券仲介」業務と取扱店は、平成19年9月30日施行の「金融商品取引法」による広告等の規制に抵触するおそれがあることから削除させていただきました。

各商品・サービスについてのお問い合わせにつきましては、最寄りの営業店までご連絡をお願いします。

県民の皆様とともに

各種ご連絡先窓口のお知らせ

お問合せの内容	電話番号等	受付時間帯
通帳・お届印・キャッシュカードの紛失、盗難	お取扱店 ☎048-647-0441	月～金　8:40～17:00 土日祝日、上記以外の時間帯
インターネットバンキング、各種預金商品、ポイントサービスに関すること	0120-18-6340	月～金　9:00～17:00
各種個人ローン商品に関すること	0120-30-6340	
事業性融資商品に関するお問合わせ、ビジネスマッチング等の相談	0120-22-6340	
外国為替相場、外貨預金等に関すること	0120-634-016	
個人年金保険、証券の取扱い、国債に関すること	☎048-641-6111	
投資信託商品に関すること	0120-6342-14	
創業、新事業に関する各種のご相談、確定拠出年金に関すること	☎048-641-6111	
ぶぎん経営者クラブに関すること	☎048-647-8484	
エレクトロニック・バンキングサービスに関すること	☎048-648-5965	

個人向けローン専門の住宅ローンセンター

営業時間　月曜～土曜 9:00～17:00
※日曜・祝日は営業していません。

大　宮	当行大宮支店2階 ☎048-645-7720	朝　霞	JR武蔵野線北朝霞駅前 ☎048-487-2614
大宮西口	桜木町ビル3階 ☎048-641-6155	所　沢	当行新所沢支店2階 ☎04-2998-6441
南浦和	当行南浦和支店2階 ☎048-838-7533	南越谷	JR武蔵野線南越谷駅そば ☎048-985-6917
川　口	JR京浜東北線川口駅そば ☎048-258-1533	熊谷東	当行熊谷東支店2階 ☎048-527-6091
川　越	当行川越南支店2階 ☎049-248-2391	久　喜	当行久喜支店2階 ☎0480-21-6181

群馬県太田地区の法人向け事務所

太田オフィス

東武伊勢崎線太田駅南口徒歩4分国道407号線沿い。太田市役所向かい。

☎0276-47-1211
（平日9:00～17:00）

太田オフィスは、群馬県太田市を中心とするエリアの法人のお客様からのご融資に関するご相談、取次ぎを専門に行う事務所です。お問合せをお待ちしています。

ビジネスローンセンター

ダイレクトメールやテレマーケティングによる各種ご融資商品のご案内を行っています。
また、県内の中堅・中小企業の皆様から、当行の融資商品に関するご相談を承っています。

☎0120-22-6340
（平日9:00～17:00）

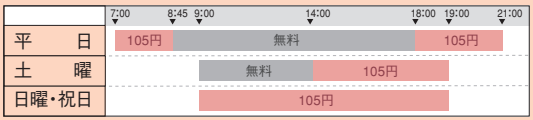
県民の皆様とともに

ATM・コンビニATMの利用時間帯、手数料

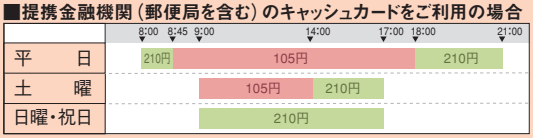
■当行ATM・CDをご利用の場合

■武蔵野銀行のキャッシュカードをご利用の場合

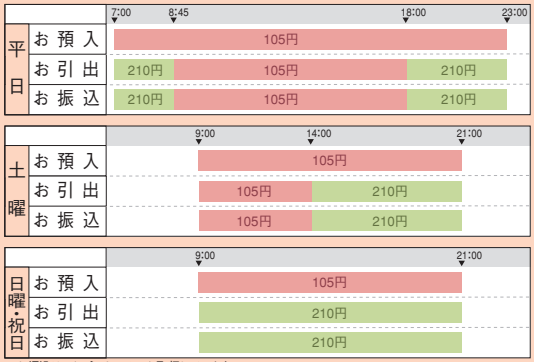
「お引出」「お振込」のお取引きの都度、1件あたり以下の「ご利用手数料」が必要となります（無料時間帯を除きます）。「お預入」「残高照会」「暗証番号変更」等は無料でご利用いただけます。
また、「お振込」の場合には、別途「お振込手数料」が必要となります。



■提携金融機関（郵便局を含む）のキャッシュカードをご利用の場合



■コンビニATM（イーネット、セブン銀行）をご利用の場合



※お振込は、イーネットのみでお取扱しています。

お振込手数料

		3万円未満	3万円以上			3万円未満	3万円以上
現金	他行宛	420円	630円	キャッシュカード	他行宛	210円	420円
	当行本支店	105円	315円		当行本支店	105円	210円
	当行同一店	105円	315円		当行同一店	105円	210円

（消費税を含んでいます）

インターネットバンキング

インターネット・携帯電話により各種サービスをご利用いただけます。

■主なサービス内容・ご利用時間

パソコン（法人向け）

サービス内容		Type Ⅰ	Type Ⅱ	Type Ⅲ	ご利用時間帯 月～金	ご利用時間帯 土・日・祝日	管理者承認時限
残高照会		○	○	○	7:00～22:00	8:00～20:00	―
入出金明細							
お振替	リアルタイム	○	○	○	7:00～22:00	8:00～20:00	承認不要
	予約				0:00～24:00		
お振込（他行宛）	リアルタイム	○	○	○	7:00～15:00	―	ご利用時間内いつでも可能
	予約				0:00～24:00		お振込指定日7:00まで
お振込（当行宛）	リアルタイム	○	○	○	7:00～22:00	―	ご利用時間内いつでも可能
	予約				0:00～24:00		お振込指定日7:00まで
各種料金の払込		○	○	○	7:00～22:00	8:00～20:00	承認不要
一括伝送	総合振込		○	○	0:00～24:00		お振込指定日前営業日17:00まで
	給与振込		○	○			お振込指定日3営業日17:00まで
	地方税納付		○	○			お振込指定日4営業日17:00まで
	口座振替			○			お振込指定日2営業日17:00まで
メッセージ通知		○	○	○			―

※日曜日の0:00～6:00は、メンテナンスのためご利用いただけません。
※当座預金宛のお振込、当座預金からのお振込は、7:00～15:00となります。

・ご利用手数料　契約料金　5,250円
月間基本料金　Type Ⅰ　1,050円、Type Ⅱ　2,625円、Type Ⅲ　3,150円
※利用口座1口座追加ごとに1,050円

お振込手数料

	3万円未満	3万円以上	給与振込
他行宛	315円	525円	105円
当行本支店	105円	210円	無料
当行同一店	無料	無料	無料

（消費税を含んでいます）

パソコン（個人向け）・携帯電話

サービス内容		PC	携帯	ご利用時間帯 月～金	ご利用時間帯 土・日・祝日
残高照会		○	○	0:00～24:00	
入出金明細					
お振替	リアルタイム	○	○	7:00～22:00	8:00～20:00
	予約			0:00～24:00	
お振込（他行宛）	リアルタイム	○	○	7:00～15:00	―
	予約			0:00～24:00	
お振込（当行宛）	リアルタイム	○	○	7:00～22:00	―
	予約			0:00～24:00	
定期預金	リアルタイム	○		7:00～22:00	8:00～20:00
	予約			上記時間帯以外	
各種料金の払込		○		7:00～22:00	8:00～20:00
各種お届け				0:00～24:00	
資料請求				0:00～24:00	

※日曜日の0:00～6:00は、メンテナンスのためご利用いただけません。
※当座預金宛のお振込は7:00～15:00となります。

・ご利用手数料　無料

お振込手数料

	3万円未満	3万円以上
他行宛	210円	367円
当行本支店	105円	210円
当行同一店	無料	無料

（消費税を含んでいます）

県民の皆様とともに

地方公共団体への積極的な協力

指定・指定代理金融機関等として、公金出納事務により、県民の皆様にご利用いただいています。また、毎年、地方債の引受を通じて、学校・病院の整備、工業団地の造成など、社会資本の整備に協力しています。

［秩父みどりが丘工業団地］

文化・スポーツの振興支援

県内の文化・スポーツ活動が盛んになることを願い、毎年開催される大宮薪能や日本スリーデーマーチを応援しています。また、7月にはサッカーJリーグチーム「大宮アルディージャ」とオフィシャルスポンサー契約を結び、それを記念して当行プレゼンツゲームを開催しました。

［大宮アルディージャの小林選手に花束を贈呈］

教育支援活動

次代を担う子供たちを応援し、心豊かな地域づくりに貢献するため、地元小中学生の職場体験学習や支店見学会の受け入れを行っているほか、創業体験プログラム等への行員派遣を実施しております。

［狭山市内の小学校で行われた創業体験「ビズ・キッズ」に行員を派遣］

公益信託「むさしの緑の基金」で環境保全に協力

緑豊かな自然を次代に引き継ぐため、「むさしの緑の基金」による助成活動、緑のトラスト基金への寄託、国の分収育林制度への参加など、県内における自然環境保全活動に積極的に取り組んでいます。

［18年度助成先「環境NGOちびっこ探検隊」（春のお散歩）］

お知らせ

キャッシュカードの安全対策をさらに強化

当行では、盗難・偽造カードによる不正な払戻等の犯罪からお客様の大事な預金をお守りするため、キャッシュカードの各種セキュリティ対策を強化しています。

①一口座、一日当たりのご利用限度額（現金の払戻、お振込の合計）は、原則として200万円以下としています。
②お客様ご自身で、200万円の範囲内、かつ1万円単位でご利用限度額を自由にご指定いただけます。
③お客様ご自身で、ご利用時間帯やご利用場所をご指定いただけます。
（当行ATM（店内・店外）のみ、かつ9:00～17:30）
④より安全性の高いICキャッシュカードも全店でご利用いただけます。

お客様も、以下の点には十分にご注意ください。

①暗証番号は、類推されやすい生年月日、車のナンバー、電話番号、住所など身近な数字や、4桁ともに同じ数字などのご利用はできる限りお控えください。
②暗証番号を類推できるものとキャッシュカードを一緒に保管なさらないでください。
③カードを紛失された場合には、直ちに武蔵野銀行にご連絡ください。

盗難・紛失のご連絡先		
月曜～金曜	8:40～17:00	お取扱店
土日祝日及び 上記以外の時間帯		ATM監視センター、又は カード紛失受付共同センター ☎048-647-0441

インターネットバンキングのセキュリティ強化

当行では、インターネットバンキングを安心してご利用いただくために、次のセキュリティ対策を実施しています。

①「ソフトウェアキーボード」によるパスワードの入力
ソフトウェアキーボード（画面上に表示された擬似キーボード）をマウスでクリックすることで、パスワードがご入力いただけます。「パソコンのキーボードから入力した操作履歴（パスワード等）を盗み取るタイプのスパイウェア」による犯罪が発生していますが、ソフトウェアキーボードから操作すると「キーボードの操作履歴が残らない」ため、より安全にインターネットバンキングをご利用いただけます。

②「可変パスワード」による本人確認機能の強化
「ご利用カード」に記載の「確認番号（10桁）」から、お取引の都度、システムが指定する2桁の数字をご入力いただきます。毎回違うパスワードを入力しますので、固定パスワードよりも安全性が高いといわれています。

③メッセージ・電子メールによるお取引の通知
インターネットバンキングのメッセージ画面や電子メールにより、資金移動などのお取引ご依頼時の受付状況や資金決済状況をご案内します。

④インターネットバンキングからのお振込限度額の引下げ
インターネットバンキングの画面にて、お振込限度額の引下げを行っていただけます。

お客様へのお願い

当行のインターネットバンキングは、お客様に安心してご利用いただくため十分な取組みを実施しておりますが、インターネットカフェなど不特定多数の方が使用するパソコンでは、パスワードなどお客様の重要情報が記録に残ってしまう恐れがあります。安全なお取引のために、不特定多数の方が使用するパソコンではご利用にならないようお願いします。

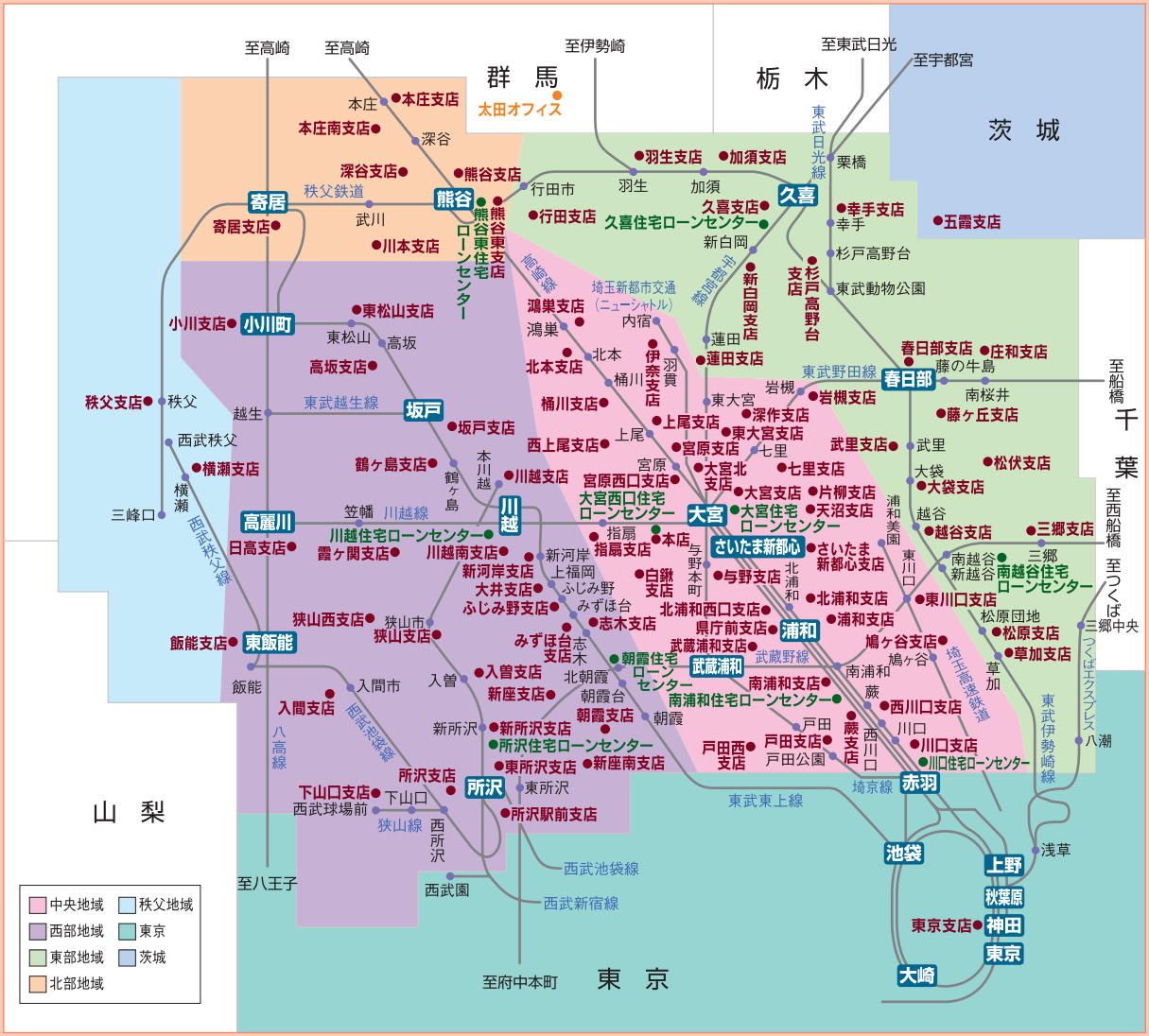
また、「会員番号」・「ログインパスワード」・「取引用パスワード」は、他人に知られることのないよう厳重に管理してください。

なお、ご利用カードを紛失された場合、パスワードをお忘れになった場合、「会員番号」及び「パスワード」を他人に知られてしまった場合は、すみやかにお取引店までご連絡ください。

インターネットバンキングに関するお問合せ窓口

ダイレクトバンキングセンター 0120-18-6340

武蔵野銀行の店舗配置図



中央地域　秩父地域
西部地域　東京
東部地域　茨城
北部地域

18年9月30日現在

武蔵野銀行　ホームページ　http://www.musashinobank.co.jp

〒330-0854　さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地8　TEL.048-641-6111（代）

発行／平成18年12月　編集／武蔵野銀行　秘書広報部

このミニディスクロージャー誌は古紙配合率100%再生紙を使用しています。
また、環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。